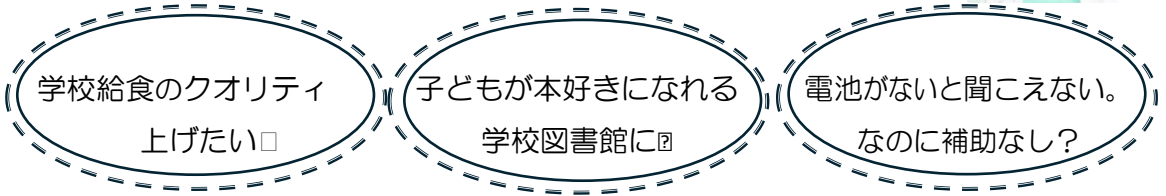




リーフで取り上げたテーマを詳しく！まずは3つお伝えします



1. 学校給食のクオリティを上げたい！

地域農業を支え（地産地消）、作る人の顔が見え、食べる時間を十分に確保できる（食育）、など本来あってほしい学校給食は自校式です。しかし、つくば市ではセンター式。市民ネットは、たとえセンター式であっても地産地消、有機農産物の導入といった学校給食のクオリティを上げるよう求めてきました。しかし、...



安定して供給
してもらえ
なら給食に使
えます...

（給食担当職員）

VS

確実に給食に
使ってもらえ
るなら生産依
頼できます...

（農業担当職員）



こんな「お見合い」状態が市内でも延々と行われているとわかり、「それなら必要量を計算して契約すればいいのでは」と一般質問で提案。

また、有機農産物に限らず、形が不揃いな野菜は機械処理できないため納品できません。そうした野菜もカットしたりペーストにする加工場があれば納品でき、貯蔵庫があれば、気候変動下でも野菜が安定供給できます。

こうした加工場・貯蔵庫の設置も提案したところ、「学校給食のあり方懇談会」での意見もあり、荃崎地区に地域交流を目指した「給食レストラン」とあわせ、「地元野菜の加工場・貯蔵庫」が作られることになりました！



今後も学校給食のクオリティを上げるため、さらに提案を重ねていきます！ご意見お待ちしております！

2. 子どもが本好きになれる学校図書館に

息子の小学校入学と同時に図書サークルに入り、読み聞かせ、蔵書点検などのボランティア活動をして、学校図書館（図書室）は改善余地があるなあと思っていました。

本の整理、紹介、発注や廃棄、子どもたちの読書への橋渡しや授業との連動など、学校図書館にいるスタッフ（＝学校司書）の役割はとても大きいのです。

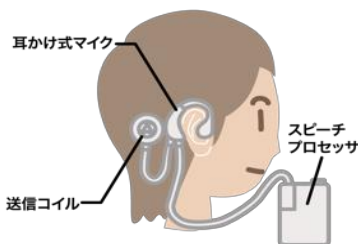
しかし、当時は「司書教諭補助員」という職名で、勤務時間も短く
中学校は周辺自治体の1/10程度。これはなんとかしないと！と、まずは役割にふさわしい職名になるよう「学校司書」に変更を求め、勤務時間も少しずつ増えてきました。



今後も「子どものいる時間は開いている学校図書館」を目指して提案します！

また、2022年時点で図書館にエアコンのない小学校が半分以上！これも多くの司書さんからの訴えを議場で伝え、エアコン設置が1年前倒しにできました（今年中にはすべての小学校図書館にエアコンが設置される予定です）。

3. 電池がなければ聞こえない。「身体の一部」（人工内耳）に補助を



人工内耳のしくみ
送信コイルは体内に
埋め込む

「人工内耳」は聴神経を直接刺激して明瞭に聞こえる機器。補聴器では補えないレベルの難聴者が対象で、1歳以上で手術ができるので装着する子どもも増えています。障害を補う用具の多くは「日常生活用具給付」として補助の対象になります。人工内耳の電池は大変消耗が激しく市民ネットは何年も電池代の補助を提案してきましたが、電池は汎用性があるという理由でずっと「ゼロ回答」でした。

でも、電池がなければ聞こえない、いわば身体の一部なのになぜ？と改めて調査し、実際に使用されている方の話を聞き、特殊な電池であるとわかりました。

県内でも補助を出す自治体が増えており、一般質問で提案(2023.9)したところ、今年度(2024年)から補助が出ることになりました。

今回載せられなかったテーマは vol.2 として
今後、お届け予定です。
ご意見、お問い合わせお待ちしております！



ご意見・お問い合わせ↑



議会録画中継↑